

しちかしゆく 議会だより

第251号

令和6年8月1日(2024年)



- 令和6年度 第1回「議会と語る会」を開催しました 2 p～ 4 p
- 令和6年 第2回定例会(6月5日～7日) 6 p～ 7 p
- 総務文教・産業建設常設委員会 所管事務調査報告 8 p～ 9 p
- 3名の議員が町に問いかける 一般質問 11p～13p
- クローズアップ すずき かずひろ 鈴木一宏さん 14p



滑津地区 5月23日

令和6年度 第1回 とともに町の明日を考える!

「議会と語る会」報告

滑津地区・横川・大原地区にて開催され多くの質疑がありました。



横川地区 5月24日

今回の「議会と語る会」に提案された質疑内容を抜粋して記載しています。ご参加頂きましてありがとうございました。

環境整備		教育政策		文化振興		観光政策		政策分類
<p>▲滑津地区 113号線</p>		<p>▲七ヶ宿中学校</p>		<p>▲湯原 春祭り</p>		<p>▲町花 乙女ゆり</p> <p>▲七ヶ宿スキー場</p>		政策分類
<p>町内の消雪道改修が頻繁に行われているが、大型車両の往来が増えるなか、町内の国道改修も必要ではないか。</p> <p>横川集落センターの現状では敷地内で屋外スポートもできないので、駐車場を全面舗装し環境整備をして欲しい。</p>		<p>中学校の建て替え計画はどのような状況なのか。</p> <p>児童の不登校の状況と対応はどうなっているのか。</p> <p>学校給食センターもだいぶ傷んでいると思われるが、調理機器等を含め現在の管理状況は。</p>		<p>関地区に若い人が増えているが、他の地区は高齢化で地区の行事などが困難となりつつあるので、各地区の行事を映像で残す必要があるのではないか。</p>		<p>「わらじで歩く七ヶ宿」のコースにある「にしのさかはし」が解体されるが、滑津地区の生活道として再建してほしい。</p> <p>長老湖周辺は新緑や桜、散策道の山桜、やまびこ吊り橋など景観が素晴らしいので、しっかりと政策に入れて欲しい。</p> <p>町花でもある「乙女ゆり」のバイオセインター施設が解体された。議会はどうか考えたのか。</p> <p>指定管理施設を外部から見ると、管理団体は独立採算で運営できるのか。</p> <p>スキー場の指定管理は、まちづくり(株)のできるのか。従業員は高畠や南陽の人が多いため確保対策が必要ではないか。</p> <p>スキー場への支援が不足していると感じる。町営で営業していた時は役場職員が公務として管理を行っていたはずだが。</p>		主な質疑内容
<p>県に対して国道113号の補修や橋梁の補修を求めたいきます。</p> <p>所管事務調査を実施P8に報告書を記載</p>		<p>基本計画が示されるはずだが調査していきま。</p> <p>ケアハウスの運営等に期待します。</p>		<p>地域文化の継承は重要であることから、担当課にしっかりとした対応を求めたいきます。</p> <p>担当部署などに対応を求め、今後注視していきます。</p>		<p>当該施設に条例制定や改廃はなく、解体に至る経緯と施設運用への行政対応を確認します。</p> <p>行政の対応を求めていきます。</p> <p>所管事務調査を実施P8に報告書を記載</p> <p>観光政策の重要な課題であることから、安定した明確な経営方針を求めていきます。</p>		議会の対応

議会と語る会

議会と語る会

議会と語る会アンケートに頂いたコメントです

(数多くのコメントを頂きありがとうございました。紙面の関係上抜粋して掲載いたしております)

- Q** 経済的行政支援は充実していると思いますか。
A 商品券の配布は人口が少ないため、他の市町村より充実していると思う。
- Q** 住民福祉事業は充実していると思いますか。
A 今年から始まった「通院タクシー」はとても良いと感じました。
- Q** 町や地区の公共施設は充実していると思いますか。
A 横川集落センターの駐車場を全面舗装してほしい。
- Q** 町の医療体制・国保診療所の運営は充実していると思いますか。
A 診療所があるだけでありがたいです。できれば夜間診療も希望する。
- Q** 町の空き家対策についてお聞きします。
A 各集落の空き家の数が多い。特に、町外所有者の管理が徹底されていない。
- Q** 担い手支援住宅政策についてお聞きします。
A 空き家の再利用をしたらよいと思う。また、町民に還元すべきでは。
- Q** 子育て支援についてお聞きします。
A 給食費の無償化や18歳までの医療費無料は助かります。
- Q** 観光政策や観光施設についてお聞きします。
A 公共施設の環境整備、特に、トイレを広くきれいにしてほしい。
A 建物を作ればいいのではないと思う。採算は取れているのか、職員の給与水準は低くないか。
- Q** 農林業政策についてお聞きします。
A 農事団体は補助金をもらい運営しているが、個人で頑張っている農家もいる。
- Q** 今後、町にどのような施設を望みますか。
A 老人がおしゃべりやお茶会など近況を報告できるような施設を望む。
A ダムの運動場に行って施設を利用したいので、運行バスを望む。
A 今回このアンケートを記入するにあたり、自分は町の政策を全く把握していないことを実感した。今回を機会に町の政策に興味を持ちたい。



▲家屋解体風景



▲通院タクシー運行式



▲夏の七ヶ宿スキー場

第1回「議会と語る会」委員長報告

実行委員長 吉田 修

5月23日・24日に滑津地区・横川地区を会場に開催された「議会と語る会」において、ご多忙の中多くの地域の皆様のご参加を頂きありがとうございました。

皆様からお寄せ頂いた、議会・町への意見や要望・アンケートなどを参考に、今後の議会活動に反映させていきたいと考えております。

尚、横川地区、滑津地区の質疑を受け後日所管事務調査を行いました。

今後の「議会と語る会」の開催時には、より多くの若い方、女性の方などのご参加を頂けるようお願いし報告と致します。

アンケート調査結果 滑津・横川・長老地区にて実施 回答枚数 41 枚

町の政策等	充 実	や や 充 実	普 通	や や 不 足	不 足	政策を承知	政策を不承知
経 済 支 援	10%	10%	60%	5%	15%	—	—
住 民 福 祉	6%	28%	34%	12%	10%	—	—
地区公共施設	8%	27%	49%	14%	3%	—	—
国 保 診 療 所	5%	24%	50%	5%	0%	—	—
空 家 対 策	0%	0%	40%	5%	36%	47%	52%
担 手 住 宅	4%	0%	56%	16%	20%	60%	40%
子 育 支 援	6%	23%	41%	2%	18%	60%	40%
商 工 観 光 施 設	0%	4%	42%	30%	34%	—	—
農 林 畜 産	0%	4%	64%	6%	20%	81%	19%

～今回の表紙は～

かつては羽州街道の宿場街として多くの旅人や参勤交代の大名行列が華々しく通った七ヶ宿街道も、時の流れとともに近代化の波に押し寄せ、今日では町内に残る歴史を醸す面影はごくわずかとなっています。

そうした中で、また一つ滑津地区にある旧街道の「にしのさかはし」が橋脚の痛みがひどく解体撤去することになりましたが、地区民にとっても町民にとっても橋の再建を心から待ち望むところです。



▲滑津地区「にしのさかはし」

令和6年第2回定例会 会期（6月5日～7日）

令和6年第2回定例会は、6月5日～7日の3日間の会期で開催され、町長から提出された議案9件はすべて承認・可決されました。

◆主な案件

- ◆専決処分の報告及び承認を
求めることについて 4件
- ◆宮城県後期高齢者医療広域
連合規約の一部変更につい
て
- ◆財産の取得について 2件
- ◆令和6年度 七ヶ宿町一般
会計補正予算（第1号）
- ◆令和6年度 七ヶ宿町国民
健康保険特別会計補正予算
（第1号）

◆専決処分の報告及び 承認を求めることにつ いて

①令和5年度 七ヶ宿町一般会
計補正予算（第7号）

《主な内容》

地方交付税 4557万円増
財政調整基金繰入金
5229万円減

②七ヶ宿町町税条例の一部を改
正する条例
《改正の理由》
地方税法の改正に伴うもの

③七ヶ宿町過疎地域の持続的発
展の支援に係る固定資産税の
課税免除に関する条例
《改正の理由》
過疎地域の特別措置法第24条
の改正に伴うもの

④七ヶ宿町国民健康保険条例
の一部を改正する条例
《改正の理由》
地方税法施行令の改正に伴う
もの

◆財産の取得について

◆除雪ドーザ
11t級 1台

問 渡部 英幸 議員
現在の重機との操作性に支障はないのか。またアタッチメントも購入金額に含まれるのか。



答 農林建設課長
同メーカーの重機なので支障はない。ロータリーアタッチメント付きの購入金額になっている。

問 高橋 浩之 議員
どの地区に配備される重機なのか。

答 農林建設課長
湯原地区に配備する。

◆籾摺り機
2台



問 五十嵐 敏夫 議員
購入される籾摺り機はどこに設置されるのか。

答 農林建設課長
ライスセンターの籾摺り機2機の更新。

問 吉田 修 議員
現在使用している籾摺り機の対応年数、また下取りあるのか。

答 農林建設課長
使用頻度から対応年数は5～8年と考える。毎年修理費が発生しているので今回の更新になった。現在の機械は廃棄処分となる。

令和6年度 一般会計補正予算 （第1号） 追加 2000万円

◆主な歳入

- ◆国庫補助金 1269万円
- ◆財産収入 239万円
- ◆諸収入 529万円

◆主な歳出

- ◆物価高騰対応給付金
定額減税調整給付金 1049万円
- ◆コミュニティ助成金 250万円
- ◆消防団員報酬等 145万円
- ◆新型コロナウイルス
接種委託料 415万円

◆定額減税調整給付金

問 五十嵐 敏夫 議員
定額減税調整給付金とはどのような仕組みなのか。

答 町民税務課長

定額減税とは2024年（令和6年）4月1日に施行された「令和6年度税制改正法」に含まれる制度で、納税者本人とその扶養家族1人につき、所得税3万円、住民税1万円の合計4万円が2024年6月1日の税金から控除される。

◆財産収入

旧薬局販売価格
239万円
購入者
「羽陽建設株」



▲売却された物件

◆消防団員報酬等不足

消防団員の活躍により火災が最小限の被害で食い止める事が出来ました。団員の皆さんの活動に敬意を表します。



▲滑津地区山林火災



▲湯原地区山林火災

議案の審議結果

【表の見方】 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 早:早退 議:議長 退:退席 除:除斥 投:投票 ※議長は採決に加わりません

会議名	議案番号	議案内容	議決月日	結果	議員名								掲載頁	
					1 高橋 浩之	2 高橋 きく子	3 渡部 英幸	4 五十嵐 敏夫	5 吉田 修	6 高橋 茂美	7 今野 三喜男	8 菅原 研治		
令和6年第2回定例会	第31号	専決処分の報告及び承認を求めることについて（令和5年度七ヶ宿町一般会計補正予算）（第7号）	6月7日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	6
	第32号	専決処分の報告及び承認を求めることについて（七ヶ宿町町税条例の一部を改正する条例）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第33号	専決処分の報告及び承認を求めることについて（七ヶ宿町過疎地域の持続的発展の支援に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第34号	専決処分の報告及び承認を求めることについて（七ヶ宿町国民健康保険条例の一部を改正する条例）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第35号	宮城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第36号	財産の取得について（除雪ドーザ）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第37号	財産の取得について（籾摺り機）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第38号	令和6年度七ヶ宿町一般会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	7
	第39号	令和6年度七ヶ宿町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃

※ 「所管事務調査」とは、常任委員会が自主的に調査事項（テーマ）を設定し、その委員会が所管する事務について行う調査です。

総務文教常任委員会所管事務調査報告

実施月日 令和6年5月15日（水）

調査項目 「元気な地域づくり交付金事業」について

総務文教常任委員会 委員長 五十嵐 敏 夫

各地区での事業への取り組み状況や実績の検証を踏まえ、今後の事業継続に向けた調査を実施し、各地区の事業内容や担当職員の対応を含め各委員から以下のような提言があった。

- ①交付金の使途については、各地区の公平性に十分な配慮が必要である。
- ②事業内容については、町民一人ひとりの生きがいにつながるような事業展開を望む。
- ③各地区担当職員は、地区の課題を住民としっかり共有した対応が必要である。

以上、委員からの提言を重く受け止め、引き続き全町民が幸せを実感できる事業の継続と、各地区委員会の適切な対応を望み、所管事務調査報告とする。



▲交付金事業



▲ふるさと振興課より説明を受ける

産業建設常任委員会所管事務調査報告

実施月日 令和6年5月17日（金）

調査項目 「有害鳥獣減容化処理施設」の運営及び有害鳥獣駆除隊（追払隊）の活動実績と成果」について

産業建設常任委員会 委員長 渡 部 英 幸



▲有害鳥獣減容化処理施設



▲農林建設課より説明を受ける

昨年9月からの処理実績はイノシシ34頭、サル42頭。隊員13名（追払6名含む）で4月から11月まで活動しているが、効果的で持続可能な活動に向け各委員から以下の意見が出された。

- ①捕獲意欲を向上させるための賃金形態が必要である。
- ②実施隊の活動に対する行政の指導監督の徹底が必要である。
- ③「南奥羽鳥獣害防止連絡協議会」との連携成果の検証が必要である。

以上、町民の8割以上が必要としている駆除対策業務に従事する実施隊の意欲向上に向けた指導や、処遇の改善を強く望み、所管事務調査報告とする。

この度の第1回「議会と語る会」において、開催地のみなさんから出された意見の中で以下の2件について調査し、所管する担当課に対し提言した主な内容を抜粋しました。

総務文教常任委員会所管事務調査報告

調査実施日 令和6年6月20日（木）

調査事項 「横川集落センター施設管理と敷地整備」について

総務文教常任委員会 委員長 五十嵐 敏 夫



▲横川地区 集落センター 現地調査



▲教育委員会より説明を受ける

地区住民から横川集落センター駐車場の全面舗装要望があり、所管する担当職員と現地調査を行ったが、遊具や立木など、あまりにも荒れており各委員から以下の提言が出された。

- ①横川集落センターの全面舗装については、地域住民との早急な意見交換が必要である。
- ②公共施設の管理点検は定期的に行い、隣接地権者との境界を含め施設管理の問題点を検討すべきである。
- ③施設内遊具の管理が不備と感じたので、安全を十分に検証する必要がある。

行政は地区住民とのコミュニケーションの重要性を改めて認識し、常に適切な対策、対応を講じる姿勢が必要であることを強く申し添え、調査報告とする。

産業建設常任委員会所管事務調査報告

調査実施日 令和6年6月20日（木）

調査事項 「[にしのさかはし]の現状と今後の管理について

産業建設常任委員会 委員長 渡 部 英 幸

地区住民から、解体される旧街道の橋存続を強く望む意見があり、担当課職員と現地調査を行ったが、定期的な維持管理の不備が要因で各委員からは以下の提言が出された。

- ①旧街道の風情を感じる施設であり、今日も地区の生活路であることから橋梁の架け替えが必要である。
- ②「クラウドファンディング」や「企業版ふるさと納税制度」を活用し、資金を募る方法も検討すべきである。
- ③地域住民とのコンタクトを取り、現場確認を行うなど常日頃から施設の状態を把握する必要がある。

地区住民の意識調査や生活実態、及び観光施設という観点からも、行政は各施設への定期的かつ早期対応が必要であることを強く望み、調査報告とする。



▲「[にしのさかはし]」現地調査



▲橋撤去後の現地

令和6年第1回定例会以降の議長・議員の動向

月日	場所	会議・行事名	出席者
3月15日	七ヶ宿小学校	七ヶ宿小学校卒業式	議員全員
3月22日	議会事務室	広報特別委員会	広報委員
3月23日	関保育所	関保育所修了式	副議長
3月27日	活性化センター	森林組合通常総会	議長
3月28日	議会事務室	広報特別委員会	広報委員
3月29日	町内、玉の木原駐車場	水芭蕉オープン式	議長
4月1日	議会議長室	辞令交付式	議員全員
4月1日	七ヶ宿町役場前	通院タクシー出発式	議員全員
4月2日	役場第3会議室	教職員宣誓式	議長
4月4日	議会事務室	広報特別委員会	広報委員
4月6日	関保育所	関保育所開所式・入所式	議員全員
4月7日	柴田町	船岡駐屯地65周年記念行事	議長
4月8日	七ヶ宿町内	七ヶ宿小学校・七ヶ宿中学校入学式	議員全員
4月8日	議会事務室	懇談会・報告会実行委員会	委員全員
4月12日	議会議長室	蔵王町議会正副議長就任あいさつ	正副議長
4月13日	西山学院	西山学院高等学校入学式	議員全員
4月17日	議会事務室	広報特別委員会	広報委員
4月18日	大河原町	仙南亙理地方町村議会議長会	議長
4月21日	仙台市	桜井充 国政報告会	議長
4月23日	役場第3会議室	すばらしい七ヶ宿を創る協議会総会	議長
4月24日	開発センター	酪農組合総会	議長
4月24日	開発センター	認定農業者連絡協議会総会	議長
4月25日	役場第3会議室	議会全員協議会	議員全員
4月25日	役場第3会議室	総務文教・産業建設常任委員会	委員全員
4月25日	役場第3会議室	議会と語る会実行委員会	委員全員
4月26日	蔵王町	エコライン開通式	議長
5月9日	大河原町	仙南亙理地方町村議会議長会	議長
5月14日	仙台市	県町村議会議長会正副会長・監事合同会議	議長
5月14日	開発センター	町観光協会通常総会	副議長
5月15日	役場第3会議室	総務文教常任委員会所管事務調査	委員全員
5月15日	役場第3会議室	議会と語る会実行委員会	委員全員
5月17日	役場第3会議室、町内	産業建設常任委員会所管事務調査	委員全員
5月20日	開発センター	商工会通常総会	議長
5月21日	東京都内	全国町村議会議長・副議長研修会	正副議長
5月23日	七ヶ宿町滑津地区	議会と語る会開催	委員全員
5月24日	七ヶ宿町横川地区	議会と語る会開催	委員全員
5月25日	山元町	山元町岩佐元議長葬儀参列	議長
5月28日	仙台市	宮城県町村議会議長会臨時総会	議長
5月29日	役場第3会議室	議会運営委員会・全員協議会	議員全員
5月29日	開発センター	七ヶ宿町体育協会総会	議長
5月30日	開発センター	ライスファーム七ヶ宿通常総会	議長

問

増加する空き家対策への取り組みは

答

町の考えや助成制度活用への周知に努めたい

問

後継者のいない高齢者や亡くなる方も多く、空き家が増加している。

昨年施行された「改定空き家対策推進特措法」では周辺に著しく悪影響をあたえる空き家を「特定空き家」と指定しているが、現在、町内に該当する空き家は何戸あるのか。

答

該当すると思われる「特定空き家」は1件あり、所有者から継続使用の申し出があった。地区自治会など連携し今後の方向性を定めたい。

問

「特定空き家」に指定された場合、固定資産税評価はどのように変わるのか。

答

「特定空き家」に認定され勧告を受けると、固定資産税の住宅用地特例から除外され固定資産税は増額される。

問

法改正により、所有者に対する「報告徴収権」は「どのように変わるのか。

問

空き家対策の計画は策定しているのか。

報告徴収権が市町村長に付与され、緊急代執行費用は裁判所の判決がなくても徴収可能となる。

問

空き家調査を。年1回握っている。直近では159件の空き家を確認し、空き家の再利用、利活用を進めている。

問

報告徴収権が市町村長に付与され、緊急代執行費用は裁判所の判決がなくても徴収可能となる。

問

今後ますます空き家の増加が想定されることから、空き家バンクの活用や空き家情報など、最大限発信して行くきではないか。

答

個人所有の財産処分については費用など難しい部分があるので、町の考え方が法律の定めなど説明しながら対応をして行きたい。また、町の助成制度活用への周知を行っていく。

【目ウチェック】

町内空き家の現状と取り組みについて知ることができた。人口減少対策も含めた質問も必要ではなかったかと思う。



よしだ おさむ 議員





高橋 浩之 議員

問 町が進めている支援住宅政策は、移住地に大きな偏りがみられる。町内にUターンされる町民の方が、自宅の改修などを行う場合でも支援が必要ではないか。

答 自宅を改修する場合の支援制度は特に設けていない。現在は住みたい住宅応援条例や街なみ景観条例などの制度活用を進めたい。

問 湯原地区にある教員住宅は3部屋の空きがあるので、教員以外の方も住むことができるよう制度の見直しをすべきではないか。

答 湯原の教員住宅は築32年が経過し、老朽化がみられ大規模な改修工事を行っているが、毎年、冬期間に給排水管の凍結が発生している。現在、瀬見原地区の教員住宅で足りていることから、解体を検討している。

問 現在、管理人として現場職員が住んでいるので、しっかり改修して災害支援住宅として空き部屋を有効活用すべきでないか。

問 柔軟な住宅政策で人口増加対策を

答 現条例による支援制度活用を進めたい

問 指名業者に偏りがあるのでは

答 町の登録業者から厳正公平に選定している

問 入札において業者から「参考見積り」を取った際は、その業者は入札指名業者から外すべきではないか。

答 参考見積りは2社以上から取り、担当者が点検して設計している。地域の維持管理を担う建設業者が不足している場合は、見積り業者も入札に加えている。

問 現在、町には土木建築の専門職がない。採用が難しいなら一般職員を土木などに勉強派遣などの方法もあるのではないか。

答 県の建設センター（社団法人）で必要に応じた様々な助言や、入札関係、単価の構成などの指導を受けている。

問 協力業者は県外ではなく県内の多数の業者にも協力を依頼して入札参加してもらえらる方策も考えられないか。

答 町からあえて参加を呼び掛ける事はしない。

答 住宅改修を行い再度活用することが本来に良いのかしっかりと調べることも必要だが、改修しても入居者がいないと老朽化が進む。被災者住宅については、高齢者生活福祉センター内に7部屋の空きがあるので、そちらの利用を考えている。

問 湯原地区の教員住宅を解体した場合、跡地の利用計画は。

答 更地にした場合は担い手支援住宅地として募集したい。

まだ決定しているわけではないが、新たな試みとして考えていく。

問 今回、いろいろな方々に利用された湯原地区の「お試し住宅」が解体されるのは残念だが、各地区にもこのような住宅があれば地区の活性化にもつながるのではないか。

問 工事の内容にもよるが、落札業者の偏りを改善するため、前回の落札業者は指名から外すことも必要ではないか。

答 前回の落札業者を外していけば遠距離の指名業者が多くなり入札辞退も増える。

入札が不調になれば行政として仕事が進まなくなるので、町として入札の透明性、公平性が発揮できる環境を作っていく。

問 昨今、公共工事に関する様々な事件が報道されている。

答 町の工事落札率はけっして低くはないと思うが、職員に対する注意や防止対策は。

答 月2回の課長会議でも副町長から注意喚起を行なっている。特に工事担当課には注意、指導して入札執行されている。

答 湯原のお試し住宅は地区から転出した方が町に寄付した住宅で、既に10年が過ぎ老朽化が進み解体する。ほかにも物件があればしっかりと調査して判断したい。



▲湯原地区・教員住宅

【自己チェック】 各地区から住民が減っていくことは大変重大な課題と考える。

今回の一般質問では核心を突くまでには至らなかったが、移住定住政策の中にUターン支援政策なども加え、持続可能なまちづくりに向かって取り組むべきとの思いが残った。



【自己チェック】

以前も指名競争入札の件で質問したが、今回もまったく変わらない答弁でした。今後、も調査研究して監視して行きたい。



渡部 英幸 議員

クローズアップ

「美味しいコメを作りたい」

転職して米づくりの仕事を始め、はや10年目になります。

当初は仕事を覚えれば何とかなるだろうと思っ
ていましたが、頭や気力・体力全てを使ってもま
だ足りない。農業がこんなに奥深いとは思いませ
んでした。(農) 千年塾では現在、横川、関、滑
津3地区の約14町歩を作付けしています。作業員
の方々(米づくりの先輩)や地域の方々に色々
と指導いただきながら励んでいます。

これから暑い中での作業が増え体にもこたえま
すが、今年も収穫したコメを店頭に並べたとき、
お客様から「やっと七ヶ宿の米が来た、待ってた
よ。今年はどうなの？おいしいの？」などと言わ
れることを期待しながら頑張りたいと思います。

今春、お世話になった稲作恩師の先生が他界さ
れました。指導して頂いた言葉の中で、唯一「米づくりは1年に1回だけしか



関下地区 鈴木一宏さん
「千年塾」にて米づくりに
取り組む。
現、七ヶ宿町消防団副団長。

今月は関下地区にお住いの鈴木一宏さんに投稿頂きました



できない、失敗したら大変だけど失敗して
覚える」とよく言われました。

やるからにはうまい米をできるだけ多く
収穫したいものです。

これから先、何回挑戦できるのか。また、
農業の近代化についていけるのか不安です
が、頑張っていきたいと思っています。

あなたも議会の傍聴してみませんか？

次回の議会は令和6年9月3日から13日の会期で、第3回定例会を開催予定です。

傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

今年もいよいよ暑い季節が
やって来ました。

今年の冬は雪も少なかった
ことから川の水も例年より少
ないようですが、町民のみな
さんには水分や塩分をしっか
りと摂り、常日ごろからの自
己管理に注意を払い、元気に
夏を乗り切っていただきたい
と願っています。

人口の少ない町だからこそ、
みなさんお一人おひとりが互
いに助け合い、命を大切に長
生きしていただきたいと思い
ます。

(高橋きく子)

■議会広報特別委員会

委員長	吉田 修
副委員長	高橋 浩之
委員	五十嵐 敏夫
委員	高橋 きく子

開かれた議会活動のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。

現在町のホームページからも議会の内容や
議会だよりをご覧ください。

▷ 連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

6月定例会の
傍聴者は3名
でした